

コーパスを利用した複合動詞「-回る」の意味分析

杉 村 泰

キーワード：コーパス、コロケーション、複合動詞、「-回る」、日本語教育

1. はじめに

本稿は日本語の複合動詞「-回る」の意味について論じたものである。従来、「-回す」、「-回る」の意味は国語辞典類に簡単な記述があるのみで、詳しい説明はほとんどなされていなかった。たとえば、『新明解国語辞典』（第四版）では以下のように記述されている。

まわ・す^{マワス}【回す】

□（本動詞「回す」についての記述。省略）

□〔接尾語的に〕⊖まわり・一面に（一帯を）…する。「張り―・乗り―・見―・眺め―」⊖次から次へと・（順順に）同じ行動を続ける。「飲み―・思い―・切り―・繰り―・使い―⑤：⑤〔＝散散に使う〕」⊖納得する・（目的を達する）まで、続けて行う。「女を追い―・刑事につけ回される・機械をいじくり―・皆から小突き回される」

まわ・る^{マワル}【回る】

□（本動詞「回る」についての記述。省略）

□〔接尾語的に〕〔一定範囲を〕移動する。「歩き―・持ち―」

（『新明解国語辞典』第四版）

しかし、辞書の記述ではこれらの複合動詞の用法を網羅しきれていないとはいえない。そこで杉村（2010b）では Web 検索を利用して多数の用例を観察することにより、「-回す」に 15 の用法があることを指摘した。ある語の多義的意味をあまり細かく分類してもきりがないが、これらの用法はお互いに V1 と V2 の関係が異なっており、日本語教育の観点からも分けて記述するのが妥当であると考えられる。これに引き続き、本稿では「-回る」に 7 つの用法があることを指摘する。

2. 先行研究

杉村(2010a)では日本語用例・コロケーション抽出システム「茶漣」(一般公開版)を利用して、複合動詞「-回す」と「-回る」の前項動詞(V1)の特徴について論じた。その結果、「-回る」には次の4つの用法があることを指摘した。

① 動作主がV1の移動行為によってあちこち移動する

(動作主は一直線に動くのではなく、あちこち方向を変えて移動する)

- (1) 君を木戸の所まで送り出してから、私はひとりで手広いりんご畑の中を歩きまわった。(有島武郎『生まれいずる悩み』)
- (2) 薄暗い台所では鼠の駆けまわる音がときどきに聞えた。(岡本綺堂『半七捕物帳 猫騒動』)
- (3) 女は悲鳴をあげて逃げまわるのを、かれは執念ぶかく追いまわした。(岡本綺堂『半七捕物帳 大森の鶏』)

② 動作主がV1の状態であちこち移動する

- (4) たまらなくコミ上げて来る笑いと一緒に、身体をよじって腹を押えて、しまいには畳の上にたおれてノタ打ちまわりながら、ヒステリー患者のように笑いつづけた。(夢野久作『あやかしの鼓』)
- (5) ああ息子は居間に籠り勝ちでありましたが、彼女はいたって快活で、もう三カ月も滞在していることとて、旅館の中をわがもの顔にはしゃぎまわり、のちにはわたしたちの部屋へも遠慮なく入ってきて長い間とりとめのない世間話をしていきました。(小酒井不木『メデューサの首』)
- (6) 逃げた芸妓さん達が、着物を着てからホテルの人に知らせたものと見えまして、下の方で誰だかガヤガヤと騒ぎまわる声がありました。(夢野久作『少女地獄』)

③ 動作主がV1の行為をしながらあちこち移動する

- (7) 或る日の事、小僧は只一人で山の中を遊びまわっていると思わず遠方まで来て一つの湖の傍へ来た。(夢野久作『猿小僧』)
- (8) わがある部隊の大隊長青木少佐は、畑の中に立っている歩哨を見まわって歩きました。(新美南吉『張紅倫』)
- (9) 二坪にも足らない小池のまわり、七度も八度も提灯を照らし回って、くまなく見回したけれども、下駄も浮いていず、そのほか亡き人の物らしいもの何一つ

見当たらない。(伊藤左千夫『奈々子』)

- (10) 俺ら若い時にゃ、忠次の兄いと一緒に、信州から甲州へ旅人で、賭場から賭場をかせぎ回ったもんだ。(菊池寛『入れ札』)
- (11) 頼みの綱はコレ一つ……兇器さえ見付かればこっちのもの……東京市中をちまわって、一軒一軒虱潰しに出所を調べてまわっても構わない覚悟で、飯田町一帯の材木置場の隅から隅まで鋸屑を掻きまわしたもんだ。(夢野久作『近眼芸妓と迷宮事件』)

④「立ち回る」

(「立ち回る」の「立つ」は本動詞の意味が薄れて接頭辞として機能しているため、他の①～③とは独立に項目を立てる。(12)は「あちこち回って立ち寄る」、(13)は「あちこちで様々な立ち振る舞う」という意味を表している)

- (12) 「おなじ店へ二度とは来めえと思うが、その女がもし立ちまわったらば、すぐに自身番へ届けてくれ」(岡本綺堂『半七捕物帳 妖狐伝』)
- (13) なにもおいらは意地わるく立ちまわって、てがらをひとり占めにしてえわけじゃねえんだからな。(佐々木味津三『右門捕物帖 のろいのわら人形』)

しかし、杉村(2010a)は「茶漉」が複合動詞研究に有用なツールであることを説いた論文であり、「-回る」の用法について詳細に論じているわけではない。そこで本稿では杉村(2010a)を補い、より精密に「-回る」の意味記述を行う。

3. 本動詞「回る」の意味

本節では本動詞「回る」の意味について見る。本動詞「回る」には「独楽が回る」のようにガ格を対象をとる非対格自動詞の用法と、「子どもが鉄棒を回る」のようにガ格に動作主をとる非能格自動詞の用法とがある。これを本動詞「回す」と対比して示すと表1のようになる。¹⁾ このうち、基本的に本動詞「回る」の⑩～⑫が複合動詞「-回る」と対応する。

4. コーパス調査

4.1 調査の概要

本節では「茶漉」(一般公開版)、CD-ROM版『新潮文庫の100冊』、インターネットのWWWページの3つのコーパスを使って「-回る」の前項動詞(V1)の特徴を見る。

表1 本動詞「回す」と「回る」の対比

本動詞「回す」	本動詞「回る」
① 回転軸を中心に対象を回転させる ・ 独楽 / レコードを回す。 ・ 鍵を右に回す。(c.f. 押し回す) ・ 目を回す。(派生的用法)	① 回転軸を中心に対象が回転する ・ 独楽 / レコードが回る。 ・ 鍵が回る。(c.f. *押し回る) ・ 目が回る。(派生的用法)
② 対象を軌道上に巡らせる (周回させる) ・ 人工衛星を地球の周りに回す。 ・ 町内に宣伝カーを回す。	② 対象が軌道上を巡る (周回する) ・ 人工衛星が地球の周りを回る。 ・ 町内を宣伝カーが回る。
③ 対象を次の順番に送り渡す ・ 回覧板を隣の家に回す。 ・ 仕事を次の人に回す。	③ 対象が次の順番に送り渡される ・ 回覧板が隣の家に回る。 ・ 仕事が次の人に回る。
④ 対象を周囲に取り巻かせる ・ 屏風を回す。(c.f. 立て回す) ・ 幕を回す。(c.f. 引き回す)	④ 対象が周囲を取り巻く ・ *屏風が回る。(c.f. *立て回る) ・ *幕が回る。(c.f. *引き回る)
⑤ 対象を必要な所に送り渡す、差し向ける ・ 車を玄関に回す。(c.f. 差し回す) ・ 資金を投資家に回す。 ・ 援軍を味方の応援に回す。	⑤ 対象が必要な所に送り渡される、差し向けられる ・ 車が玄関に回る。(c.f. *差し回る) ・ 資金が投資家に回る。 ・ 援軍が味方の応援に回る。
⑥ 手段や気配りを遍く行き届かせる ・ 四方八方に手を回す。 ・ 周囲の人に気を回す。	⑥ 手段や気配りが遍く行き届く ・ 四方八方に手が回る。 ・ 周囲の人に気が回る。
⑦ 対象 (事態) を軌道に乗せ、うまく流動させる ・ 家事を回す。(c.f. 切り回す) ・ 仕事を回す。(c.f. 切り回す)	⑦ 対象 (事態) が軌道に乗り、うまく流動する ・ 家事が回る。(c.f. *切り回る) ・ 仕事が回る。(c.f. *切り回る)
⑧ 対象を自分と対立する位置に行かせる ・ 彼を敵に回す。	⑧ 対象が自分と対立する位置に行く (⑭に近い) ・ 彼が敵に回る。
	⑨ 動作主が回転軸を中心に回転する ・ スケート選手がドーナツスピンを回る。 ・ 子供が鉄棒を回る。
	⑩ 動作主が回転しながら前進する ・ 子供がマットの上を回る。(c.f. 転げ回る)
	⑪ 動作主が軌道上を巡る (周回する) ・ 人が池の周りを回る。(c.f. 走り回る)
	⑫ 動作主が順を追って移動する (巡回する) ・ 社長が得意先を回る。(c.f. 訪ね回る)
	⑬ 動作主が障害物を避けて遠回りする (迂回する) ・ 人々が崖崩れの場所を回って別の道を通る。
⑭ 動作主が別の場所に移動する (移転する) ・ 犯人が裏口に回る。 ・ 職員が異動で人事課に回る。	

このうち WWW ページに関しては、「不自然な表現が混じる」、「文体差が見にくい」、「データの保存性が悪い」などの批判もある。しかし、「大規模データを検索することにより、普段あまり使わない表現を抽出することができる」、「書き言葉から話し言葉まで日本語の総体をひっくるめて検索できる」、「自然な表現から不自然な表現までどれくらいの頻度で出現するかを見ることができる」などの利点もある。石川（2009）も「WWW が日本語の基本語の頻度研究において一定の信頼性と有用性を持つことが実証的に示された（p.36）」と論じているように、Web 検索は言語研究にとって極めて有用なツールであると考えられる。また、荻野（2007）も「WWW をデータベースとして考えると本質的な欠陥があるのだが、検索エンジンの返してくる検索件数を単純に信じるのではなく、WWW 上の用例を個別に読みながら利用すれば、使い物になる面があるのではなかろうか（p.32）」と主張している。本稿でも WWW ページは「ある表現がどの程度不自然なのか」、「中心的な用法から周辺的な用法までいかにして広がっているのか」を知るのに有用なコーパスであると考えられる。²⁾ 以下、本稿で使用したコーパスの概要を記しておく。

① CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』

検索対象：日本人作家による 67 冊

検索方法：「回」、「まわ」が付く表現を全て検索し、その中から複合動詞「-回る」を抽出した。（名詞の「～回り」は含めていない）

② 「茶漉」（一般公開版）

(<http://tell.fl.purdue.edu/chakoshi/public.html>)

[検索の設定]

- ・コーパス指定：「青空文庫」のみを選択（コーパス総形態素数 = 8,370,720）
- ・検索パターン設定：前 1 語、後 0 語
- ・検索語の設定
 - 3~-2：未設定
 - 1：品詞：動詞（含）
 - kw：「回る|まわる（全活用形）」
（漢字表記とひらがな表記の両方を検索）
 - +1~+3：未設定
- ・コロケーション出力設定
 - 出力フィルタ：未設定
 - 活用形をまとめて集計する：チェックを入れる
 - t スコア閾値：0（全ての例を拾うため）

MI スコア閾値：0 (全ての例を拾うため)

・kwic 出力設定：文数指定 前0文、後0文 (キーワードを含む文のみ全文表示)

③ インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：2010年9月3日～2010年9月13日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある852語を含む1,083語を対象とし、これらと漢字表記の「-回る」、「-回った」、「-回らない」、「-回らなかった」、「-回ります」、「-回りました」、「-回りません」、「-回って」の共起について検索した。表4にはその合計ヒット数を示してある。(連用形の「-回り」は名詞の「～回り」も多数含まれるため検索対象から外した)

4.2 「茶漉」の検索結果

杉村 (2010a) でも論じたように「茶漉」からは全358例、前項動詞の異なり語数で60語の「-回る」が出現した。これを表2に示す。表2を見ると、「-回る」は「歩き回る」、「駈け回る」、「這い回る」のように動作主がV1の移動行為によってあちこち移

表2 「-回る」の出現数 (「茶漉」)³⁾

		出現数			出現数			出現数
1	歩き回る	53	21	嗅ぎ回る	3	〃	引っかけ回る	1
2	駈け回る	38	〃	飲み回る	3	〃	窺い回る	1
3	這い回る	29	〃	探り回る	3	〃	下げ回る	1
〃	見回る	29	24	はしゃぎ回る	2	〃	滑り回る	1
5	探し回る	23	〃	叫び回る	2	〃	泣き回る	1
6	逃げ回る	21	〃	尋ね回る	2	〃	荒れ回る	1
7	走り回る	13	〃	もがき回る	2	〃	照らし回る	1
〃	騒ぎ回る	13	〃	動き回る	2	〃	笑い回る	1
9	泳ぎ回る	11	〃	這いずり回る	2	〃	訊き回る	1
10	狂い回る	9	〃	縫い回る	2	〃	吹き回る	1
〃	のたうち回る	9	〃	踊り回る	2	〃	調べ回る	1
12	跳ね回る	8	〃	荒らし回る	2	〃	追い回る	1
〃	立ち回る	8	33	打ち回る	1	〃	掴み回る	1
14	覗き回る	7	〃	あさり回る	1	〃	転び回る	1
15	遊び回る	6	〃	うろつき回る	1	〃	拌み回る	1
〃	暴れ回る	6	〃	かせぎ回る	1	〃	並べ回る	1
〃	転がり回る	6	〃	たたき回る	1	〃	歩み回る	1
18	転げ回る	5	〃	(後を)つけ回る	1	〃	鳴き回る	1
〃	持ち回る	5	〃	履き回る	1	〃	躍り回る	1
20	馳せ回る	4	〃	よろめき回る	1	〃	頼み回る	1

動することを表すものが上位に多く出現することが分かる。その他、「見回る」、「探し回る」、「覗き回る」のように動作主がV1の行為をしながらあちこち移動することを表すもの、「狂い回る」、「のたうち回る」、「跳ね回る」のように動作主がV1の状態であちこち移動することを表すもの、さらに「立ち回る」のように「立ち振る舞う」の意味で使われるものがあることが分かる。

ところで、影山（1993:51、121）は「-回る」の前項動詞について次のような制限があることを指摘している。

(14) ～回る（非能格自動詞）

非能格+回る：暴れ回る、歩き回る、動き回る、逃げ回る

他動詞+回る：探し回る、買い回る、荒し回る、ふれ回る

非対格+回る：（風が）*吹き回る、*落ち回る、*流れ回る

たしかに、「茶漉」の検索結果は影山（1993）の指摘を裏付ける結果となっている。しかし、4.4節で見るとWeb検索の結果からは「（商品が）出回る」、「（風が）吹き回る」のような「非対格自動詞+回る」の例も出現する。したがって、種類は多くないものの「非対格自動詞+回る」の例もあることを記述しておく必要がある。

4.3 CD-ROM版『新潮文庫の100冊』の検索結果

次に『新潮文庫の100冊』の検索結果を見る。『新潮文庫の100冊』からは全546例、前項動詞の異なり語数で53語の「-回る」が出現した。これを表3に示す。『新潮文庫の100冊』の検索結果も「茶漉」検索の結果と同様の傾向を見せている。

4.4 Web検索の結果

次にWeb検索の結果を見る。今回調査した1,083語の動詞のうち、「-回る」と1件以上共起したものは365語であった。このうちヒット数上位60語までを示すと表4のようになる。Web検索はインターネットのホームページという大規模コーパスを検索対象とするため、「茶漉」や『新潮文庫の100冊』からは出現しなかった「出回る」（2,502,000件）のような「非対格自動詞+回る」例も出現する。本稿ではこのような例も含んだ「-回る」の用法を考える。

表3 「一回る」の出現数（『新潮文庫の100冊』）⁴⁾

		出現数				出現数	
1	歩き回る	116	21	騒ぎ回る	4	呼び回る	1
2	駆け回る	75	〃	触れ回る	4	訪ね回る	1
3	走り回る	59	〃	転がり回る	4	歌い回る	1
4	動き回る	41	24	はしゃぎ回る	3	踊り回る	1
5	飛び回る	35	〃	狂い回る	3	練り回る	1
6	探し回る	29	〃	調べ回る	3	説き回る	1
7	這い回る	25	〃	尋ね回る	3	吹え回る	1
8	逃げ回る	17	28	聞き回る	2	ふざけ回る	1
9	跳ね回る	14	〃	叩き回る	2	ほっつき回る	1
10	見回る	12	〃	注ぎ回る	2	駆け回り回る	1
11	遊び回る	10	〃	荒らし回る	2	流れ回る	1
12	駆けずり回る	7	〃	荒れ回る	2	振り回る	1
〃	のたうち回る	7	〃	覗き回る	2	出回る	1
14	転げ回る	6	〃	担ぎ回る	2		
〃	這いずり回る	6	〃	うろつき回る	2		
〃	泳ぎ回る	6	36	打ち回る	1		
〃	暴れ回る	6	〃	張り回る	1		
〃	嗅ぎ回る	6	〃	斬り回る	1		
〃	立ち回る	6	〃	点け回る	1		
20	漕ぎ回る	5	〃	漁り回る	1		

表4 「一回る」の出現数上位60語（WWWページより）

		出現数				出現数		
1	出回る	2,502,000	21	捜し回る	5,572	41	打ち回る	265
2	走り回る	1,916,794	22	嗅ぎ回る	4,183	42	配り回る	261
3	駆け回る	1,764,353	23	跳び回る	3,213	43	働き回る	253
4	動き回る	1,711,560	24	聞き回る	3,008	44	撮り回る	246
5	歩き回る	344,845	25	言い回る	2,250	45	殺し回る	205
6	飛び回る	259,046	26	持ち回る	2,098	46	滑り回る	199
7	探し回る	163,121	27	調べ回る	2,028	47	飲み回る	183
8	逃げ回る	131,832	28	転がり回る	1,991	48	叩き回る	178
9	立ち回る	65,605	29	踊り回る	1,889	49	売り回る	176
10	見回る	42,636	30	買い回る	1,320	50	貼り回る	136
11	暴れ回る	39,448	31	巡り回る	1,061	51	覗き回る	133
12	這い回る	32,822	32	食べ回る	849	52	振り回る	122
13	泳ぎ回る	26,898	33	訪ね回る	841	53	見せ回る	120
14	のたうち回る	22,861	34	叫び回る	689	54	狂い回る	98
15	跳ね回る	18,723	35	尋ね回る	684	55	呼び回る	93
16	遊び回る	17,401	36	集め回る	630	56	読み回る	87
17	転げ回る	14,173	37	騒ぎ回る	627	57	歌い回る	85
18	回り回る	11,635	38	付け回る	464	58	吹き回る	83
19	はしゃぎ回る	8,782	39	連れ回る	381	59	舐め回る	81
20	触れ回る	8,172	40	乗り回る	325	60	頼み回る	73

5. 複合動詞「-回る」の意味

次に Web 検索の結果をもとに複合動詞「-回る」の意味について見る。本稿ではこれらを次の①～⑦の用法に分類する。

① 動作主が V1 の移動行為によってあちこち移動する

- ・ V1 は動作主の移動行為を表す非能格自動詞
- ・ 「走り回る」「駆け回る」「動き回る」「歩き回る」「飛び回る」「逃げ回る」「這い回る」など
- ・ 動作主は直線的にはなくあちこち向きを変えて曲線的に移動する。この点で本動詞「回る」の⑩（動作主が軌道上を巡る、周回する）に近い意味を持つ。

(15) 本日も南へ、北へ、東へ、西へ南湖中を走り回りました。

(<http://blog.tetsumorita.heavy.jp/?month=200910>) 2010/9/11

(16) 水の分子は液体の状態では自由に動き回っているそうです。

(http://blog.q-q.jp/200807/article_26.html) 2010/9/4

(17) ドッグランみたいな場所で、追いかける犬と逃げ回る犬がいた場合、追いかける犬のほうが悪者みたいな雰囲気になるのはなぜでしょう？

(<http://pets.yahoo.co.jp/hiroba/question/detail?qid=1344846643>) 2010/9/10

② 動作主が V1 の動作をして体を揺り動かす

- ・ V1 は動作主の揺れや回転を表す非能格自動詞
- ・ 「動き回る」「暴れ回る」「のたうち回る」「跳ね回る」「転げ回る」「はしゃぎ回る」「転がり回る」「踊り回る」「騒ぎ回る」「狂い回る」など
- ・ 動作主は体をまっすぐにしてではなくくねらせて動く。この点で本動詞「回る」の⑩（動作主が回転しながら前進する）に近い意味を持つ。

(18) 目に見える刃物や拳銃を持って暴れ回っている犯人に対しては、警察官はいち早く出動します。

(<http://www.youtube.com/user/lancru8886>) 2010/9/13

(19) 大きな黒人の男が、急に泡を吹きながら痙攣しだして、バスの床に転がったのです。そのうち苦しみだして、バス停に停まったバスから転げ落ち歩道をのたうち回ります。

(<http://4travel.jp/traveler/sato1970/album/10117077/>) 2010/9/13

(20) 次の瞬間、彼は胸に激しい痛みを感じて大声を出すと、地面を転げ回りました。

(<http://homepage3.nifty.com/hkaction/sub903.htm>) 2010/9/8

③ 動作主があちこちでV1の行為をしながら順次移動する

・V1は基本的に他動詞

・「探し回る」「見回る」「触れ回る」「嗅ぎ回る」「聞き回る」「調べ回る」「買い回る」「食べ回る」「訪ね回る」「尋ね回る」「働き回る」など

・動作主は一箇所だけでなくあちこち順次移動する。この点で本動詞「回る」の⑫(動作主が順を追って移動する、巡回する)に近い意味を持つ。

(21) 参加者は百武正美鳥栖署長の合図でパトロールに出発。各団体が所有している青色パトロールカーが次々と発車し、参加者も周辺を徒歩で見回った。

(<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.1334547.article.html>) 2010/9/13

(22) こんにちは、もうすっかり梅が咲いているので、街中で匂いを嗅ぎ回っている派遣のプロ和久井です。

(<http://haken.269g.net/archives/200702-2.html>) 2010/9/5

(23) 仕事から各地の名物そばを食べ回ることができ、おかげで、ちょっとしたそば通にもなれた。

(http://www.zenmen.net/hotnews/vol_05/hotnews5_01.html) 2010/9/10

(24) 女房は、洗濯、鶏の世話、繕い物と、くるくる働き回りました。

(<http://koakumacoco.blog107.fc2.com/blog-entry-124.html>) 2010/9/11

このうち、(24)の「働く」は「盗みを働く」のように「～をしでかす」という意味で使われる場合はヲ格補語を取るため他動詞とも考えられるが、ここの「働く」は「労働する」という意味のヲ格補語を取らない表現であり、一般的に非能格自動詞に分類される。しかし、「働き回る」は「あちらで働き、こちらで働き、……」という繰り返し行為を表すため、他の「他動詞+回る」と同様に③の「-回る」に含めて考える。

このように③の「-回る」では動作主が「あちらでV1をし、こちらでV1をする」というように一回一回の行為が断続的であるのに対し、次の④の「-回る」は動作主がV1の行為を継続しながら移動する点で違いがある。

④ 動作主がV1の行為をしながらあちこち移動する

・V1は以下のような特定の動詞

・「連れ回る」「持ち回る」「付け回る」「乗り回る」など

・③と同様に動作主は一箇所だけでなくあちこち順次移動する。この点で本動詞「回る」の⑫(動作主が順を追って移動する、巡回する)に対応する意味を持つ。

「連れ回る」：動作主が対象である有情物を連れてあちこち移動する

・「連れ回す」が「動作主が対象の意に反して対象を連れてあちこち移動する」ことを表すのに対し、「連れ回る」は対象を移動させることよりも動作主自身の移動に焦点がある。

- (25) 以前から、目の変だ、頭が痛いと言うことがあって、小児科、耳鼻科、眼科
いろんなところを連れ回ったことがあります。

(<http://tataratara.exblog.jp/6835419/>) 2010/9/10

- (26) 私は赤羽自然観察公園や荒川土手や、景色の良い場所をくまなく連れ回
った。

(<http://m4s.cocolog-nifty.com/blog/2010/07/10730-c3e1.html>) 2010/9/10

「持ち回る」：動作主である関係者が会議の開催や仕事の担当などを順次受け持つ

- (27) 全国に私たちの会員らがいるので全国を持ち回って会合を持つことができる
ようになったのだ。

(<http://a1club.net/h12bm/bm19.htm>) 2010/9/13

※ 次の「持ち回る」は文字通り「動作主が対象を携えて、あちこち移動する」とい
う意味を表す。ただし、ほとんどの「持ち回る」は上の(27)のような意味で使
われている。

- (28) 当然だが、8N1Yの移動運用時には、電波法に従い有効な「無線局免許証票」
が貼りつけられた無線機を持ち回ると共に、運用者は無線従事者免許証を携
帯すること。なお参考まで免許状のコピーも無線機と一緒に持ち回ることと
する。

(y150.hp.infoseek.co.jp/doc/090420op_rule_Ver2.2.doc) 2010/9/13

- (29) 遺産分割協議は共同相続人全員の合意が必要ですが、共同相続人が一同に会
する必要はありませんので、相続人が遠方にいるなどの場合、相続人の間を
持ち回って承諾を得ることも可能です。

(http://www.souzoku-touki-soudan.com/souzoku_yougo_a0008.html) 2010/9/13

「付け回る」：動作主が対象である有情物の後をつけてあちこち移動する

・「付け回す」が「動作主が対象の意に反して対象の後をつけてあちこち移動する」
ことを表すのに対し、「付け回る」は対象への働きかけよりも動作主自身の移動に焦
点がある。

- (30) 仮に日本の学術調査隊が対象国に調査申請を出しても、調査可能の返事が来
るのは早くても1年後だったりする。国によっては秘密警察が付け回る事も

ある。

(<http://evaa-japan.com/page06.aspx>) 2010/9/10

※「付け回る」には「ゴロゴロして、草の匂いを体いっぱいにつけ回る」のような②の用法や、「家に火をつけ回る」、「砂地に足跡をつけ回る」のような③の用法もある。

「乗り回る」：動作主が乗り物に乗ってあちこち移動する

・杉村(2010b)で見た「乗り回す」は「動作主が乗り物を思いのままに操って、行きたい所に移動させる」ことを表すのに対し、「乗り回る」は乗り物の操作よりも動作主自身の移動に焦点が当たる点で違いがある。

(31) 今回、私が現地を訪問し、実際にシンガポール市内でタクシーを乗り回し(遊びじゃないですよ — 仕事! 仕事!)、体感しました。(中略)シンガポール市郊外の'中の上'クラスのホテルに滞在し、市内各所をタクシーで乗り回りました。

(http://www.imca.co.jp/magazine/nagataenglish/nagataenglish_a104.asp) 2010/9/11

(32) 鉄道の世界は奥が深い。全国各地の鉄道を乗り回るだけが鉄道オタクではない。

(<http://booklog.kinokuniya.co.jp/tsuda/archives/2008/02/>) 2010/9/11

⑤「立ち回る」：動作主が様々な場面において、自分に有利なように臨機応変に振る舞う

・「立つ」が接頭辞化した表現である点で他の「-回る」とは異なっている。

(33) 社会の中でもまれて実績をつむ中で、生きる術を身につけ、それなりにずるく巧妙に立ち回ることを覚え、「うまくやってきた」のでしょう。しかし、厳しい環境の中では、そのようにうまく立ち回る行動は、利益を減らす無駄以外の何物でもないのです。

(http://www.melma.com/backnumber_13816_4365436/) 2010/9/9

※「立ち回る」には(34)のように「動作主(犯人や目当ての人など)があちこち歩き回る。もしくはその途中で、ある所に立ち寄る」という意味もある。しかし、現在この意味で使われることはあまりなく、普通は「歩き回る」もしくは「立ち寄る」と言う。

(34) 「おなじ店へ二度とは来めえと思うが、その女がもし立ちまわったらば、すぐに自身番へ届けてくれ」(岡本綺堂『半七捕物帳 妖狐伝』(= (12)))

⑥ 「出回る」：商品が生産者から市場に出て広く行き渡る

- ・「出回る」は「-回る」の V1 に非対格自動詞が来る珍しい例である。⁵⁾ 「茶漉」では 0 件、『新潮文庫の 100 冊』では 1 件しか出現しなかったものの、⁶⁾ Web 検索ではヒット数 1 位の 2,502,000 件も出現した重要な表現である。対象の流通を表す点で本動詞「回る」の③（対象が次の順番に送り渡される）に近い意味を持つ。

(35) 町内の田んぼは約 1400ha。県全体でみると、2%の面積です。だから、多古米は流通量が少なく、地元では手に入りますが、全国のスーパーや、百貨店には、ほとんど出回りません。

(<http://hw001.gate01.com/tachibana-farm/takomaitte.html>) 2010/9/10

(36) 市場に流通する『青ゆず』は実が完熟する前のもので、大体 7～10 月頃出回ります。それに対して『黄ゆず』は黄色く完熟したもので、『青ゆず』の後 10～12 月ごろ市場に出回ります。

(<http://www23.big.or.jp/~marumi/jyohou/kajitu/yuzu/index.htm>) 2010/9/10

次の「吹き回る」も V1 に非対格自動詞の「(風が) 吹く」が来る例である。ただし、「出回る」と違いヒット数はあまり多くない。

⑦ 「吹き回る」：強風がつむじを巻くように巡回して吹く

- ・「吹き回る」も「-回る」の V1 に非対格自動詞が来る珍しい例である。対象である風がまっすぐにではなく巡回して吹くことを表す点で本動詞「回る」の①（回転軸を中心に対象が回転する）に近い意味を持つ。

(37) にやるほど、風が、体の中、服の中を吹き回ります。たしかにこれは、涼しい……。

(<http://fudangi.jakou.com/>) 2010/9/11

(38) セットした目覚ましで起きると、相変わらずすごい風が吹き回っています

(<http://sourinkai.cocolog-nifty.com/blog/2010/02/post-6848.html>) 2010/9/11

- ・「吹き回す」が「強風があちこちの方向から吹きつける」ことを表すのに対し、「吹き回る」はあるひとつの風がぐるぐる巡回して吹くことを表す。

(39) 風が吹き回すうえ波が高く船が大きく揺れたので、ちょっと疲れました。

(<http://iwai-island.jp/>) 2010/6/6

※ 次の「吹き回る」は他動詞の「吹く」が使われたもので、先の③の「-回る」に分類される。

(40) 中之島にあったホテル自由亭が、専属音楽隊を雇い入れ、楽士達を人力車に乗せて、大阪中を吹き回った。

(<http://www.tozaiya.co.jp/history.html>) 2010/9/11

なお、次の「振り回る」は一般的には「振り回される」というのが普通である。しかし、ここでは動作主が相手から受動的に振り回されるのではなく、自分で勝手にそうになっているということを表そうとして、自動詞形の「-回る」が出現したものと考えられる。

- (41) つまり彼女がまわりの男性を振り回しているのではなくて、まわりの男性が勝手に彼女に振り回されている、というか振り回っている (笑) ってことになるんでしょう。

(<http://oshiete.goo.ne.jp/qa/2011255.html>) 2010/9/11

また、次の「回り回る」は「回りに回る」という「回る」の強調表現であり、「巡り回る」は「すみずみまで巡る」という「巡る」の強調表現である。これらは①～⑦の「-回る」とは性格が異なるため、本稿では別のものとして扱うことにする。

- (42) 贅沢品を買いたいならば、宝石を買えとのこと。なぜならば、宝石の多くはアフリカで産出されており、宝石を買うことでそのカネが回り回ってアフリカにまで届くからだそうです。

(<http://questionbox.jp.msn.com/qa481532.html>) 2010/9/13

- (43) 心臓から送り出された血液は短時間で体内を巡り回ります。

(http://www.touseki.jp/mei/safety_02.html) 2010/9/13

6. まとめ

以上、本稿では Web 検索を利用して複合動詞「-回る」の意味について分析した。その結果、「-回る」には上記の①～⑦の用法があることを見た。また、「-回る」は基本的に他動詞や非能格自動詞につき、非対格自動詞は「出る」と「(風が)吹く」以外にはつきにくいことを明らかにした。

注

- 1) 森田 (1989)、『新明解国語辞典』(第四版)、『広辞苑』(第三版)を参照した。表1の「回る」

- のうち、①～⑦は非対格自動詞の例（ただし④はあまり言わない）、⑨～⑭は非能格自動詞の例、⑧はどちらにもなりうる例である。
- 2) 杉村（2007）では、WWW ページが有用なコーパスとなりうることを実際の言語分析を通して論じている。
 - 3) 「茶漉」の形態素解析は奈良先端科学技術大学院大学自然言語処理学講座で開発された形態素解析システム「茶釜」に依拠しているため、必ずしも常に抽出したい表現が取り出せるわけではない。例えば、「歩きまわる」は「歩く+まわる」の2語と数えるため複合動詞として抽出されるが、「歩き回る」はこれ全体で1語と数えるため複合動詞としては抽出されない。この点については、畠山（2008）でも「茶漉」を使って複合動詞の用例を抽出する際には注意が必要であることが指摘されている。ただし、本稿では畠山（2008）と同様に、便宜的に3節で示した設定によって出現した用例のみを集計している。
 - 4) 「駆け回る、駆けまわる、駆け回る、駆けまわる」、「探しまわる、捜しまわる、」のように表記の違うものもまとめて示してある。
 - 5) 杉村（2009）で分析した複合動詞「-尽くす」も、V1に由来する動詞のほとんどが他動詞（「埋め尽くす」など）か非能格自動詞（「遊び尽くす」など）である中で、例外的に「出尽くす」と「燃え尽くす」はV1に非対格自動詞が来る。
 - 6) 「茶漉」や『新潮文庫の100冊』では、たまたま収録された文学作品の中に「出回る」が出てこなかっただけであると思われる。このような例を見つけるためにも、Web 検索は有用なツールであることが分かる。

参考文献

- 石川慎一郎（2009）「日本語基本語研究における非統制型・統制型・媒介型 Web as Corpus の可能性—一言語コーパスにおける基本語頻度の安定性について—」『特定領域研究「日本語コーパス」平成20年度公開ワークショップサテライトセッション予稿集』、文部科学省科学研究費特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築：21世紀の日本語研究の基盤整備」統括班，29-38
- 荻野綱男（2007）「コーパスとしての WWW 検索の活用」『月刊言語』第36巻第7号，大修館書店，26-33
- 影山太郎（1993）『文法と語形成』ひつじ書房
- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹（1989）『日本語基本動詞用法辞典』，大修館書店
- 新村 出（編）（1983）『広辞苑』第三版，岩波書店
- 杉村 泰（2007）「インターネットを利用した日本語の類義分析」『月刊言語』第36巻第7号，大修館書店，42-49
- （2009）「コーパスを利用した複合動詞「-尽くす」の意味分析」『言語文化論集』第31巻第1号，名古屋大学大学院国際言語文化研究科，83-95
- （2010a）「「茶漉」で見る複合動詞「-回す」と「-回る」のV1 + V2結合」『戯れのテクノロジー』松下千雅子 エドワード・ヘイグ 杉村泰（編），名古屋大学大学院国際言語文化研

究科, 64-72

—— (2010b) 「コーパスを利用した複合動詞「-回す」の意味分析」『言語文化論集』第32巻
第1号, 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, 83-95

畠山 衛 (2008) 「茶漉」による書き言葉の中の複合動詞の分析」『15th Princeton Japanese Pedagogy
Forum Proceedings』, 19-33

森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』, 角川書店

山田忠雄 (主幹) (1991) 『新明解国語辞典』第四版, 三省堂